



二宮小学校便り

平成29年
9月28日発行



2学期がスタートしました。校庭の片隅にかわいい瓢箪の実がなっています。赤とんぼも飛び交っています。まだまだ、蝉も頑張っていて鳴いてはいますが、秋を実感する季節になりました。

始業式、9月1日は、防災の日でもあります。そこで、防災の日ということを知っているか聞いてみました。思ったよりも知らないようです。なぜ、防災の日なのかを聞きました。「関東大震災！」という声も聞かれましたが、これも意外と少ないです。関東大震災を知っているかを聞きました。えっ？こんなに少ないの？というのが本音です。

今から94年前の今日、昼の11時56分に関東地方を大きな地震が襲い、10万人を超える人々が亡くなったことを伝えました。

そして、二宮小学校(吾妻尋常高等小学校)の「沿革史」を取り出して、そこに記されている記録の一部を読み上げました。二宮小の校舎は無事でしたが、当時の一色分教場は、全壊でした。町内の家屋も被害が大きく、29名の方が亡くなったということ、その内、児童も4名亡くなったことが分かりました。当時「訓導」と呼ばれていた教員も、根府川駅の事故に巻き込まれて1名亡くなっています。しかし、なんと20日には、二宮小、一色分教場いずれも授業が再開されているのです。どれほどのご苦労があったのかと頭が下がる思いです。悲しみを乗り越えて、復興に向かう力強さも垣間見ることができました。

戦争の記憶も薄れていく時代ですから、その前の関東大震災の記録は大変貴重なものだと思います。この機会に、是非、記録を掘り起こし記憶に留めていくことが大事なのだと思います。ご家庭におかれましても、日頃の備えをどうするかという話し合いのきっかけになれば幸いです。



夏休み明けの、作品展示です。今年もなかなかの力作がそろいました。毎年、それを眺めるのが楽しみです。コンクールに出品のため、現時点で見ることができないものがあるのが残念ですが、それでも、見ごたえがあります。一人一人どんな思いで、取り組

んだのかなあと想像するのも楽しいです。来年も期待しています。

今年度、学校研究として「道徳」に取り組んでいます。11日(月)、2回目の校内研究会を行いました。

5校時、2年3組の授業参観です。教材とする資料は、「みかんの木の寺」。あるお寺のみかんの木に白い花がたくさん咲きました。いちろうたちは、みかんが実ったら、とって食べようと思います。ある日、大きくなってきたみかんの木の下に集まって、いちろうがこっそり手をのぼすと、「こらっ。」と大きな声。みんなばらばらと逃げました。次の日も集まると『みかんをとるな。まだ、すっぱいぞ。』と書かれた札が。それから、『あと四、五日だ。まだ、とるな』『あと一日、あすまでおまち。』その次の日、いちろうたちがお寺に入ってみると、「あっ。」みかんが一つもないのです。帰りかけると「あっ、みかん。」かごに大きな金色のみかんがたくさん。その上に『おいしくなったよ。みんなでおあがり。ぬすんでたべたらすっぱいすっぱい。みかんの木の寺のおしょう』と書いた紙が。いちろうたちは、こっそりとうとうとしたことを考えはじめました。という話です。

『うそやごまかしをしないで、他人に対しても自分に対しても常に正直に行動することによって明るい心で生活しようとする心情を高める』ことがめあてです。

授業の展開としては、いろいろなやり方があります。みなさんは、どんなやり方を考えますか？ここでは、そこにはあえて触れません。授業参観で一度は道徳に取り組みますので、まだのクラスは、その時、先生達はどのような教材で、どのように授業を進めるのかなと思ってください。

校内研としては、「導入の発問」「役割演技」「一度話を止める」「板書」「ワークシート」「終末」などの視点で各自の意見をまとめます。KJ法という多数の意見をまとめる方法を使って整理します。4グループに分かれて、良い点は青い付箋で、問題点は赤い付箋で項目別に模造紙左半分に貼っていきます。グループごとに話し合っ、論点を右側に整理していきます。経験の差に関係なく活発な議論が交わされました。発表は、若手の先生が請け負いますね。大いに盛り上がりました。この経験値は、必ず次の授業に生かされるはず。これは、プレッシャーですかねえ。

